

小売供給力確保の義務化及び中長期取引市場導入に関する意見調査 スキッピングストーンが集計結果を発表

東京 — 2026年1月27日 — スキッピングストーンは、経済産業省が制度設計を進めている小売供給力確保及び中長期取引市場に関する意見調査の結果を発表しました。本調査には、大手電力会社、新電力、商社・トレーディング会社、発電事業者、金融関連会社、コンサルタントなど幅広い市場参加者が参加し、回答者のうち35%以上が経営幹部に該当していました。

小売電気事業者に対し、翌年度需要の70%及び翌々年度分の50%を確保することを義務付ける「小売供給確保の義務化」については、全体の55%が反対。とりわけ新電力の回答者においては、70%が反対するという結果となりました。この義務が小売事業者に及ぼす影響については様々なご意見が寄せられましたが、多くが現行市場ルールに対して大きな混乱を招くとの見方を示しています。

中長期市場に関しては賛否が分かれましたが、52%が「反対」と回答し、84%が同市場の代わりに先物市場を利用することに有効性を見出していることが分かりました。また、61%が中長期市場の導入による影響として「電力小売事業モデルの修正が必要となる」と指摘し、47%が「必要供給量を確保するための信用不足」を懸念しています。

「これらの施策により小売事業者の市場撤退が発生すると考えますか」という設問には、実に88%が「はい」と回答しました。

今回の調査はこれまでのアンケート調査とは異なり、設問に対する回答に加えて多くの自由記述コメントが寄せられました。これら全てのコメントは、貴重なご意見として集計結果レポートに収録しています。集計結果レポートの詳細は、[弊社ウェブサイト](#)から資料請求いただけます（無料）。

本レポートに関するご相談や、新制度に備えた戦略の検討をご希望の方は、下記連絡先までお問い合わせください。

スキッピングストーンについて

スキッピングストーンは、電力・ガス専門のコンサルティング&テクノロジーサービス会社です。電力・ガスの自由化先進国で培った経験と知見を活かし、環境変化への対応支援から、投資機会の実現化、市場調査や国内外のビジネスマッチングまで、これまで 25 年以上に渡り世界各地で 300 社超のお客様を支援して参りました。ボストンに本社を置き、ヒューストン、ロサンゼルス、東京にオフィスを構えています。

詳しくはホームページをご覧ください。

日本語 : <http://SkippingStone.co.jp>、英語 : <http://www.SkippingStone.com>

お問い合わせ窓口

スキッピングストーン合同会社

Japan_Info@skippingstone.com

03-6435-6600